

「face to faceを科学する」月刊イベントマーケティング

EVENT 23 MARKETING

May 31, 2017

特集
動画時代の
イベント映像
クリエイター



表紙のひと
ハンググライダー
日本代表選手
鈴木 由路さん

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F
TEL03-6721-5303 sofu@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp



イメージに翼を

料理動画では、真上からの俯瞰撮影と早送り編集が主流だ。調理する人の視線、短時間での工程理解、完成までのビジュアル確認をスマホ用に設計した、徹底したユーザー視点のコミュニケーションデザインがある。

“イベント”での映像にも、リアルならではのコミュニケーションデザインがあって、そこにはさまざまな技法や手法をもつクリエイター

がいる。今回特集では、この瞬間！、このロケーションで！に最適化した映像体験をつくりだしているクリエイターたちにスポットを当てた。

そんなわけで、今回の表紙には新進気鋭の映像クリエイターに…ではなくて、アスリートに手伝ってもらった。鈴木由路選手は、映像への没入感が得られるVRという手法を活用し、ハンググライダーの魅力伝えるべく、

VR体験シミュレーターを共同開発し、普及する。表紙にはスマホのなかで飛んでいる勇姿が映っているが、実際にVR越しにみる景色は、上空からの景色そのもの。魅力のひとつだという、触れるくらい近い場所から雲を見ることもできる。彼は、新しい普及の仕方をVRに見出し、体験会も開く(12p参照)。

さて、映像といえば今年のショートショー

トフェスティバル(6/1~25)では、企業や広告会社が制作したブランディング目的のショートフィルム(ブランデッドムービー)を上映し優秀作を表彰する「Branded Shorts」が初めて公募制を採用して行われる。また、観光プロモーション映像に授与される「観光映像大賞(観光庁長官賞)」に国際的な観光映像大賞を新設。企業や自治体が活用する映像による新たなコミュニケーションの取組みをチェックできる。未知の体験ができるかもしれない。

(空撮写真協力：ハンググライダー日本代表選手鈴木由路さん)

10万人を超える展示会から数十名のセミナーまで 担当者1人で楽々！イベント運営管理サービス

申込サイト
作成

申込受付
決済

参加者
管理

受付・
来場者対応

集客広告
プロモ

来場者
行動分析

スマホ・
アプリ対応

来場者
アンケート



まずはお気軽に資料をご請求ください！(24時間対応)
http://info.eventregist.com/dl_premium



イベントレジスト株式会社

<http://eventregist.com>
[お問い合わせ] contact@eventregist.com | 03-6869-5592

EventRegist
イベントレジスト

動画時代の

イベント映像クリエイター

イベントというライブな場では、映像体験づくりにどんな技法や手法が使われているのか。クリエイターからその技法を使うメリットやクリエイティブを紹介してもらった

ドレスを着るヴィーナス。イベント会場で立体投影された
(QRコードから「Dress for Venus」の完成した姿・全記録をみることができる)

VR ライブドローイング+ペッパーズゴースト+ AI



プランナー：秋山 貴都さん（電通）
 クリエーティブ・テクノロジスト：菅野 了也さん（電通）
 プランナー：尾崎 賢司さん（電通ライブ）
 クリエーティブディレクター：越智 一仁さん（電通）
 アート・ディレクター：岡村 尚美さん（電通）

没入感による
体験創出

図1.ヴィーナスを絵画から3D化

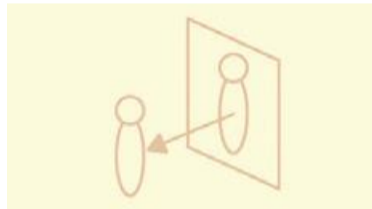
図2.VR空間でドレスを描く
実物の像にドレスを着せる

図3.ブグローのタッチを再現・合成



100年ハダカだったヴィーナスに、ドレスを

アート見本市「アートフェア東京」のオープニングパーティでは今年、ウィリアム・ブグローの名画「ヴィーナスの誕生」をモチーフに、「100年ハダカだったヴィーナスに、ドレスを。」をコンセプトにしたライブパフォーマンス『DRESS for VENUS』が行われた。

絵画からヴィーナスを3D化し（図1）、VR空間上でファッションデザイナーのコシノジュンコが新作ドレスをドローイング（図2）、描かれたデザインはヴィーナスの立像に立体的に投影された後、ブグローのタッチをAIに機械学習させ、再現・合成した（図3）。

このアート、ファッション、テクノロジーを融合したプロジェクトを企画し実現させたクリエイターが、写真の5名だ。

「VRで生まれたものをライブでどうみせるか」がポイントだったという。

古典的アートとの距離の縮め方

3つのステージで展開されたライブパフォーマンスを1ステージずつ技法から紐解いてもらった。

<VR ライブドローイング：3D空間でドレスデザイン>

「ヴィーナスのためのドレスを作り出すために、ヴィーナス自体と立体的に触れ合う方法を選択しました。絵画のヴィーナスの3Dモデルを起こし、「Tilt Brush」という三次元ドローイングツールを使いました。両手に持ったコントローラーがパレットと筆になり、色も線種も自由自在に3D空間に絵を描くことができます。ヴィーナスとVR空間内で直接対峙しながら彼女のためのドレスをデザインできました」

<ペッパーズゴースト：イベント会場で立体投影>

「描かれたドレスは、『ペッパーズ・ゴースト』と呼ばれる立体投影技法を用いて実物のヴィーナス像に投影され、360度から閲覧できます。劇場やアミューズメントパークのアトラクションなどでも使用される視覚トリックで板ガラスと特殊な照明技術（プロジェクションやLEDモニター）によって、実像と板ガラスに写った「幽霊」（オブジェクト）を重ねて見せることで、錯覚をつくり出しました」

VR空間の映像をスクリーンで上映する方法もあるが、「イベント上の没入感と興奮をつくる」ため、立像に投影したとのこと。裏話だが、テスト段階では立像への投影だけでも意外にベタッと平面的にみえたため、「立像を回そう」という案が出され、短い制作期間のなか、実物のヴィーナス像と投影されるドレスを同期して回転する仕組みを作り、360度

の奥行きある立体的な表現を実現させた。

<AI：ドレスを絵の中へ>

「オリジナルの絵画に馴染むよう、ドレスの画像を合成するのに、ブグローのタッチをAIに機械学習させ、そのタッチを再現できる画像フィルタをつくりました」

タッチの再現・合成の時間は約30分、参加者が立像に投影されたドレス姿のヴィーナスを写真に撮るフォトセッションタイムの間、裏側では、コシノジュンコがVRドローイングでドレスデザインを描き終わった瞬間から、遠隔地にいるプログラマーにデータを転送、ブグローのタッチへとデータ変換作業がAIを活用して行われていた。

ドレスを着たヴィーナスの絵が除幕された瞬間、会場は大きな拍手に包まれ、クリエイターチームは安堵した。

「一つひとつの技法は、Tilt Brushなど新しいものもありますが、最新技術を詰め込んだというものではありません。『DRESS for VENUS』のストーリーに最適なテクノロジーを考えていった結果。でも、驚いていたのは、その場で平面、立体、平面と変換するすべての工程をその場にいた全員がライブで一気に、一斉に目撃して体験共有したから」とし、「3つのステージをストーリーとして楽しんでいた」と説明する。

イベントでVRを使用する場合、ヘッドマウントディスプレイ1台に対して、その世界観に包まれるのは1人だが、このライブパフォーマンスではVR空間で生まれたものを約200人が瞬間的に共有することで、古典的アートとの距離を縮めることに成功した。

今後、ファッションショーなどでも展開されそうだ。

www.ray.co.jp

株式会社レイ イベント事業本部の
映像機器レンタル&AVシステムプロデュース

ショーテクニカル ステージビジュアル エキシビジョン コンベンション

株式会社レイ イベント事業本部
 東京事業所 TEL.03-5767-5910 大阪事業所 TEL.072-967-0622 京都営業所 TEL.075-705-1278

1年以内に展示会に出る企業の
経営者様、出展責任者様が絶対に参加すべき

展示会
営業™

「出展コストの33倍売る！
特典 展示会営業™セミナー」

成果が変わる！30のチェックリスト プレゼント

講師：中小企業診断士 清永健一（amazonで2冊分野別1位の著者）
 日時：複数日程あり。13:30～16:30 場所：Biz新宿（西新宿駅5分）
 主催：株式会社ビュア・コンサルティング 03-4400-8883

展示会営業 急所 検索 からお申し込み下さい

※紹介者欄に「イベントマーケティング特典」と記入すると参加料が3,000円になります。

プロジェクションマッピング



日置 修平さん
株式会社タケナカ 制作部

心のスイッチを
押す

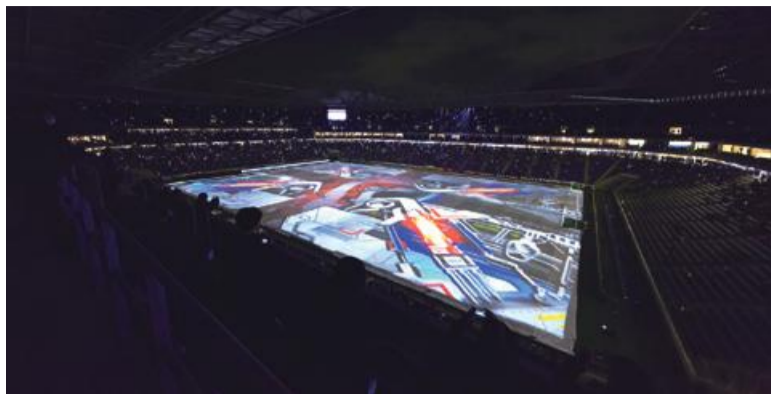
映像を音感覚で捉える

元気ロケットの音と映像が一体化したハイブリッドな世界感をつくった日置さんは、「リアルの世界では音と映像は元々一つの現象。テクノロジーの進化で別れてしまったものを、どう一つに戻すのが大事」と語り、その作品も音と映像が絶妙に絡み合う。作品づくりのはじめはロケハンに行き、音楽と映像をイメージする。現地の音を収録して、作曲家と制作したり、映像の変化に音を効果的に使うなど、音楽的表現が作品のあちこちに盛り込まれている。

目の前の建造物などが変容しつづける面白さが魅力のプロジェクションマッピング。作品の長さについては、「5分では伝えきれず、10分では飽きるのでは7~8分が適切」と日置さんはいう。その最適な映像構成も音楽をつ

演出・監督・クリエイター

ガンバ大阪対 FC 東京の試合終了後、グラウンドがひび割れて宇宙空間に…。3月11日、Jリーグのフィールドで初めてプロジェクションマッピングが行われた。同プロジェクトの映像演出・監督・メディアアーティストを務めた日置修平さんは、大学で建築を、大学院でメディアアートを学ぶ。その後、音楽ユニット「元気ロケット」に参加し、音楽ビデオやホログラムのほか、音楽ゲームなども制作した。2013年から映像制作のタケナカに合流、太陽の塔や神奈川県庁舎MIRAIEなど、同社の主要プロジェクトを手がける。



Jリーグのフィールド初のプロジェクションマッピング

くるかのように展開を考えると。

2Dの説得力を使う

音楽とともに日置さんが大切にしているのは、2Dのグラフィックデザインだ。プロジェクションマッピングは「造作感を画像でドライブする」と表現する日置さん。3DCGや映像制作の前に、投影する建築物をインターフェイスとして絵力のある平面構成を考える。ロケハンからグラフィックのデザイナーを帯同し、建物の部分ごとの材質や色、観客の位置による視界など映像のアクティブエリアを考慮し、どこにどれだけのディテールで書き込むかなどを考える。また、映画の背景画を描くマットペインターにも制作を依頼することもあるという。「全体のデザインルックス、テクスチャーや質感など、2Dのグラフィックを作り込むと映像の品質が飛躍的によくなる。それが3DCGやアニメーターのモチベーションにも繋がる」とその重要性を語る。

監督の脳内はマルチメディア

「さまざまな能力をもつクリエイターとのネットワークも監督の力」という日置さん。映像のイメージや予算感などを考慮し、チームの人数やメンバーを決める。クリエイターの作家性と能力を最大限に活用するため、各自がどこに労力をかけるのかを指示し、弱い部分は日置さん自身が補う。それぞれの役割を理解し、また、自身でバックアップするため監督にはマルチプレイヤーとして対応する能力が必要だという。

「タケナカの優れた点はハードとソフトの双方を手がけること」と日置さん。全体の品質をいかに最大化するかを考えギリギリのラインまで追い込めるからだという。

「Visual Experienceが大切。高揚感のある美しい映像をつくるだけでなく、見た人の記憶に残りその人の生き方や感覚まで影響する、心のスイッチを押せるかが演出の力」と語る。

hibino group

東も、西も。
撮るも、映すも。

映像を中心に、企画から制作、運営まで。
あなたの M.I.C.E. を、幅広く、奥深く、サポートします。

ヒビノメディアテクニカル株式会社
URL: www.media-t.co.jp

本社	〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-9	TEL: 03-5677-1924
大阪事業所	〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町2-37 2F	TEL: 06-6311-1951

ヒビノベスコ株式会社
URL: http://www.besco.co.jp

〒104-0043 東京都中央区湊2-12-11 相栄ビル5階 TEL: 03-5542-8131

サクラ インターナショナルの
主催者サポートチームは

チームの8割が
多言語対応可能と
専門知識で

本当に凄いです!

Gastech 2017年4月4日~7日
@幕張メッセ 実績

Exhibition & Conference
出展社数 600社 84% (500社以上)が外国企業でした。

1日平均300通を超える英文メール対応
オーダー専用WEBサイトのディレクション運用
主催社との英語のみでのTV会議
リギングルールに関する英国建築事務所・安全管理事務所・会場との調整
更には、現場でも直接ブースへ 顔が見える安心なサービス提供
勿論、英語、中国語、韓国語等々での対応

SAKURA International Inc.
http://www.sakurain.co.jp

東京本部	Tel: 03-5646-1160 〒135-0048 東京都江東区門前仲町2-5-9 深川三和ビル 4F	大阪本社	Tel: 06-6264-3900 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-3 ENDO堺筋ビル3F・4F
------	---	------	--

メディアアート+α



村松 亮太郎さん
(NAKED Inc. 代表)

新たな体験を
生み出す

1 クリエイターの得意分野

作品の特徴として「ストーリー性」と「世界観」がある、と言われる事が多いです。歴史や文化を踏まえて作品のストーリーを構築する事を大切にしながら、プロジェクトマッピングをはじめとしたデジタルアートと、香りや音など五感を刺激する演出、インタラクティブな仕掛けを掛け合わせる事によって新たな体験を生み出す事を目指しています。

2 映像の世界に入ったきっかけ

高校生の時に会った「映画」です。役者からスタートし、映画監督に転向、フレームを超えた映像制作という点で、プロジェクトマッピングを手がけ、現在は映像を中心に空間全体の演出を行なっています。

3 クリエイティブ紹介



「TOKYO ART CITY by NAKED」
6月16日から開催。会場に東京を代表する9つのスポットをピックアップし、見た事のないような「TOKYO」を作ります。東京の巨大模型やプロジェクトマッピングなど最新テクノロジーを駆使し「都市の持つ魅力」を、空間全体を使ってアートとして表現します。

ドローン空撮



黒田 潤一さん
(株式会社 Drone Games 代表取締役社長)

近距離から
俯瞰まで

1 クリエイターの得意分野

ドローンを用いて被写体の表情が分かるぐらいの近距離から、イベント全体がわかる俯瞰の距離まで、同じドローンを用いても全く違う視点で撮影をすることができます。また様々なプロスポーツの撮影も実施しているため、速い動きや複雑な動きの被写体をドローンを用いて撮影することを得意としています。

2 映像の世界に入ったきっかけ

映像監督からご連絡を頂き、ドローンレースをイメージしたPV撮影を行いたいというご連絡を頂いたのがきっかけです。

3 クリエイティブ紹介



Survival Game Movie on April 6.
数十名の参加者が集ったサバイバルゲームの様子のアフタームービーです。ドローンからはチームごとの攻め方の違いや隠れ場所の違いなども表現し、気の抜けないサバイバルゲームの緊張感をリアルに再現したアフタームービーに仕上げました。

3DCG アニメーション



會田 寿さん
(サクラインターナショナル株式会社 クリエイティブプロデューサー / プランニング、コンテンツ制作、イベント運営)

迫力映像と
ショー演出

1 クリエイターの得意分野

展示会でのLIVEカメラを仕込み出展製品のデモを交えたプレゼンステージの演出が得意です。事前に撮影しプレゼンの軸となる映像コンテンツを制作。3DCGアニメーションを表現に交えることで映像演出の幅を広げています。プレゼン演出の特長は、出展製品の動きとLIVEカメラを含めた映像、そして、ナレーターが一体となったパフォーマンスにより印象強い訴求となることです。

2 映像の世界に入ったきっかけ

映画が好きで自分で映画を撮りたいと思ったのがきっかけで映像の世界に入りました。感銘を受けた映画は、クロード・ルーシュ監督「愛と哀しみのポレロ」。

3 クリエイティブ紹介



Uni-SHUTTLE HP
プレゼンテーション
4月にアメリカ・シカゴで開催されたBtoBの展示会 ProMat2017 の muratec booth (MURATA MACHINERY USA,INC.)で実施。映像を使ったステージ演出で、前回と比べ3倍の受付け数を獲得する成果に大きく貢献しました。

即時編集



山口 正人さん
(株式会社チェリービー 代表取締役 / ディレクター)

会場全体の
一体感に

1 クリエイターの得意分野

カメラマンの撮った画をその場で編集し完成させる制作スタイルを展開。これまで、「BACKSTAGE2016」、「Innovative City Forum」、「企業の周年行事・表彰式など」を手がけています。即時編集の特徴は、イベントの最後に流すことでその場の臨場感と感動を表現できること。会場全体を一体感に包むことが可能です。映像クリエイター歴は20年。

2 映像の世界に入ったきっかけ

小学3年生の時に、「テレビの裏側」的な制作現場の本に出会って。テレビ番組づくりの面白さを知ったのがきっかけです。

3 クリエイティブ紹介



BACKSTAGE2016
イベントの夏フェスとして昨年初開催されました。イベントの仕掛け人という舞台裏にいるひとたちに1日スポットを当てたイベントのエンドロールらしく、前日の施工風景から当日の最後のセッションまでを撮影、即時編集してエンドロールにのせました。

ぜひ ご来場ください!

販促業界 日本最大! 660社が出展

第9回 販促ワールド夏

第9回 販促 EXPO

第5回 店舗販促 EXPO

第4回 営業支援 EXPO

第2回 広告宣伝 EXPO

会期: 2017年7月5日[水]~7日[金] 10:00~18:00 [最終日は17:00まで]

会場: 東京ビッグサイト 主催: リードエグジビジョンジャパン(株)

業界トップ32名が講演! マーケター必聴 セミナーを開催

事前申込制

<講師一部紹介>



資生堂ジャパン(株)
取締役 執行役員
赤尾 一成



マツダ(株)
常務執行役員
青山 裕大



LINE(株)
上級執行役員
田端 信太郎



C Channel(株)
代表取締役社長
森川 亮



日産自動車(株)
日本マーケティング本部 副本部長
森島 幸彦



ソフトバンク(株)
代表取締役副社長
今井 康之



B.LEAGUE
理事 事務局長
葦原 一正



KCJ GROUP(株)
取締役 専務執行役員
能勢 幸次



セールスフォースドットコム(株)
副社長
古森 茂幹



日本マイクロソフト(株)
執行役員 専務 エンタープライズ担当
福島 徹

お申込み・詳細はこちら

www.sp-world.jp/seminar/

※敬称略。講師、プログラムが変更になる場合がございます。なお、掲載枚上 講師の役職・所属を省略している場合がございます。

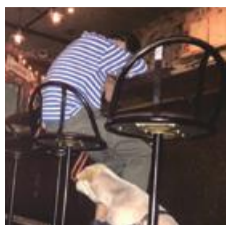
※同種の展示会との出展社数、製品展示面積の比較

招待券(無料)のお申込みは 販促ワールド 検索



【お問合せ先】 主催者 リード エグジビジョン ジャパン(株) TEL: 03-5302-3044 Web: www.sp-world.jp

アクションカム+ドローン



非現実的な映像体験

井出 雄介さん
(TSUKUBA TELEVISION 企画部 映像制作 / ディレクター)

1 クリエイターの得意分野

アクションカムは魅力的な広角映像が作れます。また1フレームごと長時間に渡り撮影し動画にまとめる所謂タイムラプスにより見慣れた雲や太陽の動き等の景色も非現実的な見せ方にできます。ドローン撮影のメリットは、地上からのクレーンよりも高い位置や角度、反対にヘリ等の空撮では行えないような低い位置や被写体に近いダイナミックな映像の両方の撮影がシームレスで行える事と前述の機材に比べ手早くリーズナブルに行える面だと思えます。

2 映像の世界に入ったきっかけ

中学時代に趣味でスケボーのビデオなど撮っていたのが一番はじめだったと思います。

3 クリエイティブ紹介



肉フェス プロモーション映像
肉料理特化型フードエンタテインメント「肉フェス」開催中に

展開したプロモーション映像です。写真は導入部分に開演時の高揚感が演出できるようドローンで空撮しました。

ホログラム



視覚のしくみ計算しつくす

高橋 英雄さん
(株式会社シネ・フォーカス 技術部技術4課 テクニカルチーム)

1 クリエイターの得意分野

ライブや劇場、イベントの大型映像装置システムの設計やプランニングを得意としています。3Dホログラムについては、英国Musion社と提携し、映像の投影だけでなく、コンテンツづくりの手法や撮影機材、現場での造作物や照明の設計などのトータルソリューションを習得、質の高い3Dホログラムを提供しています。

2 映像の世界に入ったきっかけ

ブロードウェイミュージカルの日本公演で、海外の映像プロデューサーと仕事をし、ライブ・イベントにのめり込んでいきました。

3 クリエイティブ紹介



TYPE-MOON/FGO PROJECT 制作のスマホRPG「Fate/Grand Order」(Anime Japan 2017)

スクリーンに映ったゲーム画面の前面にキャラクターと決めゼリフが3Dで現れます。キャラが持つ武器の立体的造作とホログラムが融合し、臨場感ある世界観をつくりました。キャラクターに息を吹き込み、ゲーム上では直接描かれていないキャラクターの個性も演出。来場者の中には涙する人もいました。(写真: ©TYPE-MOON/FGO.PROJECT)

脚本



物語をつくる

及川 猛広さん
(ヒビノメディアテクニカル株式会社 プロデュース事業部 クリエイティブグループ チーフプランナー)

1 クリエイターの得意分野

表彰式やパーティーといった企業のインセンティブ・イベントを中心に、コンセプトワークから進行・演出プランの立案までを担当。コンセプトやテーマに基づいて参加者の心を動かし、モチベーションを高める『物語』の表現手段として映像コンテンツをとらえ、ストーリー構成や台本の作成も手掛けてます。

2 映像の世界に入ったきっかけ

演劇の脚本家出身。演劇でも『物語』を追求してきましたが、現職に就いたことで、映像制作の比重が高まっています。

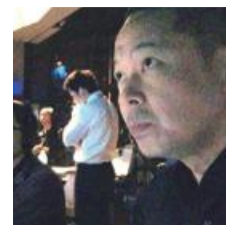
3 クリエイティブ紹介



Reach for the Stars ~星をつかむ者~ (メーカー表彰式オープニング)

ビジネス機器メーカーが優秀な営業職員を賞揚する表彰式のオープニング映像。開催テーマは「Reach for the Stars ~星をつかむ者~」。果てしない星空に夢を描き、宇宙開発に取り組んできた人類の『物語』を、受賞者自身の『物語』に重ね合わせ、「さらなる高み」に向けたモチベーションを喚起しました。

マルチカメラ収録 & 配信



双方向ライブも

Liveninja
主宰・技術: 川井拓也 営業・技術: 駿河由知 技術: 森谷博、岩沢卓、高野勝、大上渉 (クリエイティブ紹介でのメンバー)

1 クリエイターの得意分野

国内外のシンポジウム、国際会議、企業イベント、商品PR、コンサート、セミナー、講演会、トークライブ、多拠点双方向ライブなど複数台のカメラを使った効果的な映像演出を得意としています。各種SNSインフラを利用したライブ中継や非公開ライブ中継までご要望にあわせご提案します。会場に設置された大型スクリーンへの拡大ライブ中継や映像合成などお客様から高いご評価を頂いております。

2 映像の世界に入ったきっかけ

CM制作会社でCM、TV、映画、Webなどに携わり独立、SNSの企業コミュニティ運営などを経て2009年からネット配信でまた映像を扱うようになりました。映像だけでなくネット寄りなのが面白いと感じています。(川井拓也)

3 クリエイティブ紹介



全国5会場の双方向ライブ中継

今回は、全国5会場の双方向ライブ中継を担当。メイン会場で行われる企業様のお客様向け抽選会を全国のパブリックビューイング会場の大型スクリーンへライブ中継。Skypeをメインに最新の映像音響機器を効果的に利用したライブソリューション。

LIVE

In Creative

TAKENAKA 「タケナカ」で検索!

映像・音響とイベントとICTのトータルサービス SYMUNITY (株)タケナカはシンユニティグループの一員です

63 電力

処理能力 需要

100%

うちが何の仕事をしているかこれで伝わるかな?

施設やイベント会場のポテンシャルと、企画者の演出ニーズに合わせた電力設計をする、と補足しておきます。

株式会社 鈴木電機
〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-12-5
TEL 03(3842)8201 (代) FAX03(3845)3040
URL: http://www.suzukidenki.co.jp

好評受付中! インターネット展示会 <http://www.tenji.tv/>

専門紙webに載るよ編

社長!! 新製品ができました!

さっそく東京の展示会でPRします!

よし! 頼んだぞ

展示会場に来る人だけじゃなく、もっと広く知って欲しいなあ...

これはやらないと損でしょ! 1回の接待費よりも効果大ですよ!

はい...

出展を3日で終わらせない



AR

空間ARを活用したプレゼンテーションを「PERS AR」

—アイデアクラウド

「PERS AR」アプリはGoogleが開発したTangoテクノロジーを活用し、深度センサーで空間の位置と角度を計測し、床となる場所かどうかを判定して、テーブルやイスなどさまざまなアイテムを配置できる。端末を近づけるとオブジェクトの大きさや角度が変わり、あたかも現実世界に設置したような体験が可能で、「部屋の中に家具を置きたいけど、サイズ感がわからない」、「製品のカラーバリエーションを現物並べて見たい」、「製品の中身がどうなっているか知りたい」といった課題に3D空間シミュレーションで体感を提供する。初期費用24万円、月額3万円から利用できる。

イベント会場や展示ブースのパスと、展示品や装飾の3DCGデータを取り込み、ブース内のデザインをその場でカスタマイズするという使用方法も可能で、デザイン提案や打合せにも活用できそうだ。

この他にもGoogleのTango技術を利用し、空間上の長さの計測や空間を3Dスキャンして自動的に平面図を作成するアプリなどもラインナップする予定だ。

コンテンツを
“体験”に変える

**映像機器・サービス
ノウハウ・事例**



配信プラットフォーム

映像配信でイベントのマネタイズ「ULIZA(ウリザ)」

—スキルアップ・ビデオテクノロジーズ

イベント主催者が自分たちのチャンネルをつくれるサービス。PCやタブレット、スマホなどマルチデバイスに動画配信するプラットフォームを提供している。広告配信、エンコード、セキュリティ、配信ネットワーク、公開管理など、ソフトウェアからインフラまで、動画配信に必要な機能をすべて備えたクラウド型サービス。課金型動画配信や広告モデルなどクライアントのマネタイズを促進するための各種ソリューションも提供。イベントでのチケット物販以外の収益源として、来場者限定コンテンツ配信や有料動画サービスなども行っている。

今年3月からプレイブソフトのイベントアプリ制作サービス「Eventos(イベントス)」と連携し、イベント動画のアプリ内発信やプレミアム動画コンテンツ配信によるイベントのマネタイズ強化を支援する。



プロジェクター

**高い表現力とプロ向けの設計思想で
ライブ・イベント業界席巻「EB-L2500U」**

—エプソン販売

ビジネスプロジェクターで22年連続シェアNo1を誇るエプソン販売が最上位機種「EB-L2500U」を昨年末に発売。大規模イベントでの利用が広がっている。特徴の一つは豊かな表現力。レーザー光源と3LCD方式の採用で、2万5000ルーメンという明るさと高い色再現性を実現。また、使い勝手重視の設計思想と価格競争力がある点はオペレーターの間で評価が高い。レーザー光源の採用だけでなく長期間の安定駆動を実現するために信頼性を向上させ、3年または2万時間メンテナンス不要に。故障の場合も、ユニット構造で修理時間を短縮し、イベントに穴をあけない。本体がコンパクトかつ軽量でハンドルが標準装備され取り回しに便利であるため設置が容易だ。信頼性・安心感というスベックにでない部分へのこだわりが随所にみられる。



インスタレーション

微妙な変化がリアリティ生む

—GINZA SIX/チームラボ

銀座松坂屋跡地にオープンした商業施設「GINZA SIX」にある、3~5階の高さ約12メートルのリビングホール。LEDを用いたインスタレーションを手がけたのはチームラボだ。水が流れる滝は事前に作られた映像ではなく、仮装の三次元空間に岩を立体的につくり、そこに流れる水の粒子の相互作用を計算した、物理的な水の運動シミュレーションとなっている。代表の猪子寿之氏は、3フロアにまたがる作品で観る人のいるフロアによって違う見え方がすることや、銀座の日没時間とともに木々の色がシルバーに変わる、冬は植物の色がやや深くなるといった工夫を説明。ほんの僅かな変化が、滝にリアリティをもたらしたり、屋内空間のなかで自然や時間の流れを意識させる演出となっている。

Social Networking Service
CIMALabo

「液体水って、液晶だったんだ!!」
「発色が良くて明るいのが特徴だよ。」

技術情報

知ったかぶり解消にはコチラ「CIMA Labo」

—シーマ

映像音響のシステム設計や機器のレンタルを手がけるシーマの研究チーム。勤続40年の「きょうじゅ」、猫の「じょしゅ」とその友達の猫たちがメンバー。Blog、CIMAPedia、Twitter、YouTube、Facebookで展開している。

Blogでは、機械系オタクの「きょうじゅ」が金属探知機を手作りするなど回路の説明も踏まえマニアックに機械工作なども行っている。技術情報をまとめたCIMAPediaでは、たとえば液晶ディスプレイ編の中で、植物学者ライニツァーが発見した液晶状態の話や、液晶分子を90度ねじれた状態から電圧をかけてまっすぐにし偏光フィルターで光を遮る液晶ディスプレイのしくみを図解している。そのほか最新機器の使用レポートや、事例紹介なども掲載。自社制作したCIMA Pediaの冊子は、同社だけでなく他の映像関連企業の社員教育の教材にもなっているとか。

圧倒的な大画面が実現する世界観、立体物や局面などあらゆる形状に投影できる自由度、インタラクティブ性など、プロジェクターならではの演出を実現します。映像で驚きと感動の世界をつくるエプソンのビジュアルコミュニケーションのビジョンが反映された商品です。

エプソン販売 VPMD 部 部長 蛸澤啓明さん

Venue
Event
Community

集い、交わる場(中規模スペース・ベニュー/イベント主催者)を企画・運営するひとたちが集まって、べちゃくちゃおしゃべりしながら、よりよいベニューづくりを考えるコミュニティ

**6月26日(月)
フクラシア八重洲(東京)で
ベニュー研フォーラム#03 開催決定**

参加者が期待する5つのポイントを議論

1. 会場名称の定義
2. 調査・データ化
3. 技術研究・実験室
4. コンテンツ研究
5. 会場間連携の情報共有化

参加費：3000円(懇親会込み)

販促ワールドが 販促・マーケティングの総合展へ飛躍



リード エグジビション ジャパン株式会社
販促ワールド 事務局長

松本 晃さん

販促EXPO・店舗販促EXPO・営業支援EXPO・広告宣伝EXPOの4展に拡がり、ノベルティの展示会から販促・マーケティングの総合展へと進化した「販促ワールド2017 夏」。7月5日(水)からの開幕にさきがけ、事務局長の松本さんにかがった

産業・業界を支える 商談の場づくりを

—展示会の役割をどのようにお考えですか

松本 展示会は産業・業界活性、発展に役立つものであると考えています。PRの場ではなく、会場内で商談を進めてもらうために、責任者にブースに常駐してもらう、商談席を複数用意してもらう、ということをお願いしています。

—出展社にどのくらい浸透していますか

松本 商談席を設置する出展社は販促 EXPO をはじめた9年前は約4割でしたが、昨年は約7割と年々増えてきました。「製品・サービスの導入につながる具体的な商談をしたい」と

いう来場者の要望を強く伝えています。出展社が真剣に商談のための準備をすると、案件をもち熱意のある来場者が増えるという相乗効果になっています。

—そういう商談の場が、五輪による東京ビッグサイト利用制限で影響を受けるかもしれないことには

松本 展示会では、会期中に1年間の売上の大部分を成約につなげている企業も多く、開催中止により事業継続が困難になる企業もあるようです。このような社会的影響の大きさが展示会業界以外の方にも少しずつ理解が広がっているため、現在の状況が改善するのではと期待しています。また、展示会の価値を改めて考える機会になっていると思います。

ノベルティから 販促・マーケティングの総合展へ

—販促ワールドの歩みを教えてください

松本 文房具の展示会、「国際 文具・紙製品展 ISOT」の中からノベルティをはじめとした販促用品の需要の高まりをうけて9年前に販促 EXPO を立ち上げ、店舗販促 EXPO へと展開しました。4年前に営業支援 EXPO、昨年から広告宣伝 EXPO を新設したことで、ノベルティという枠組みを超えた販促・マーケティングの総合展という位置づけで、「販促ワールド」という総称にしました。今年は昨年より140社増え、660社が出展、東京ビッグサイトの西ホールで開催します。

—来場者層もだいぶ変わったのでは？

松本 そうですね。これまで同様に販促担当の方々も引き続き多いのですが、マーケティング担当や広報・宣伝、営業、経営層の方々の来場が年々増えており、今年は3万8,000名の来場を見込んでいます。

—今回のみどころは

松本 販促業界日本最大の660社が出展することです。過去最多の出展社数でもあるので、なるべくすべてのブースを見ていただきたいですね。売上向上はどんな企業にとっても課題です。来場者自身も気づいていない課

題を解決するソリューションが販促ワールドには溢れています。ノベルティを求めて来場した方が広告宣伝 EXPO で商談をされるというケースも非常に多いですから。

—セミナーも強化されていますね

松本 今回から販促 EXPO と広告宣伝 EXPO において、各5本の専門セミナーを同時開催します。業界分野の基礎知識や最新動向に加えて、その日から使える具体的なノウハウを身につけられるプログラムになっています。集客効果だけでなく、講演を聴くことで自社の課題やその解決策に気づき、展示会場で具体的なソリューションの商談を行えるという、相互作用が期待されます。

—文具の展示会 ISOT や GIFTEX と同時開催になりますね

松本 東京ビッグサイト東ホールを合わせると、13展で2,640社が出展、10万名が来場する予定です。ISOT・GIFTEX では、文具店や雑貨店、セレクトショップ、ライフスタイルショップの経営層や店舗の関係者の来場がメインとなり、販促ワールドとの親和性が高いので期待しています。

—そのほか集客の施策はありますか

松本 販促ワールドは業界別の展示会ではなく、販促・マーケティング・営業・広報などという、職種でターゲットングしています。この集客に私どもが1年に173本開催している展示会のデータベースが活かされます。あらゆる業界の担当者に誘致活動ができることが最大の強みです。

展示会、そのすべてのキーワードを埋める
何かをわたしたちは持っています。

日本で、世界で、
発想も経験もグローバル

www.tzb.co.jp

イベント基礎装飾から個別ブース、店舗内装にいたるまで。
グローバルネットワークをバックボーンにトータルプロデュース。

各種展示会の全体基礎装飾から個別ブース装飾や販促イベント、店舗内装にいたるまで。T Z B は、人が、企業がセールスコミュニケーションするそのすべての空間造りをトータルにプロデュース。企画・施工はもちろんのこと、運営から保守・サポートまで、幅広いビジネスフィールドでさまざまなサービスをご提供いたします。アジア・アメリカ・ヨーロッパなど広範囲に渡る T Z B 独自のグローバルなネットワークを武器に、展示会に関わるどんなキーワードにも自信を持ってお応えいたします。

東京造型美術株式会社
TOKYO ZOKEI BUJITSU CO., LTD. E-mail : info@tzb.co.jp

東京都中央区日本橋大伝馬町12-7 3F
TEL : 03-3669-8571 FAX : 03-3669-8240

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。

飯田電機工業株式会社
http://www.iidae.co.jp/

- イベント事業本部 〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21 TEL 03-3521-3522 FAX 03-3521-3524
- 千葉事業所 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2-38 藤張ビル TEL 043-273-2441 FAX 043-273-2531
- 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館3F TEL 03-3982-9551 FAX 03-3982-9564
- 大阪事業所 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル TEL 06-6543-2880 FAX 06-6543-2884
- インテックス大阪事業所 〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102 インテックス大阪内 TEL 06-4703-5401 FAX 06-4703-5402
- 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道IDAビル TEL 03-3409-3333 FAX 03-3409-0104
- 東北事業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 仙台一番町ビル6F TEL 022-716-2077 FAX 022-716-2078

□ 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 TEL 03-3409-3331 FAX 03-3409-3827

企業対抗駅伝
公式アプリも
採用!

イベントに特化したアプリで課題を一気に解決!

Eventos イベントス
https://eventos.tokyo/
イベントス 検索

event_contact@bravesoft.co.jp

資料請求 お問い合わせ 03-6809-6064 (平日 10:00 ~ 19:00) 株式会社 プレイソフト

[書籍紹介]

飛び込みなしで「新規顧客」が
ドンドン押し寄せる
「展示会営業」術

展示会営業コンサルタントの著者がこれまで手掛けてきた実績から得たノウハウが凝縮された1冊。コスト・人員削減でも売上がアップする展示会営業のヒミツや小さな会社の展示会準備法、短期間で売上を右肩上がりに変えた5社の事例を交え展示会会期前・後の細かい部分までフォローされている。



著書：清永健一 / 出版社：ごま書房新社 / 定価：1550 + 税 / 頁数：212P

ニューヨーク市が
MICE プロモーションを強化

ニューヨーク市観光局 (NYC & Company、本局：アメリカ合衆国、ニューヨーク市 / CEO：フレッド・ディクソン) は、ニューヨーク市の5つの行政区(ブロンクス、ブルックリン、マンハッタン、クイーンズ、スタテン島)でのMICEイベント開催の喚起と、それによる渡航需要と経済効果をさらに強化するため、「MAKE IT NYC」と銘打ったプロモーションを展開、観光関連施設との連携を強化する。

日本初！自転車まちづくり
博開催

「BICYCLE CITY EXPO 2017」

BICYCLE CITY EXPO 2017 実行委員会は、「自転車を利活用したまちづくりの推進」、「自転車を取り入れた新たなライフスタイルの提案」をコンセプトにした日本初・最大規模の展示会「BICYCLE CITY EXPO 2017」(後援：国土交通省・新宿区 他)を2017年9月8日(金)、9日(土)の2日間、ベルサール高田馬場(東京都新宿区)で開催する。

「BICYCLE CITY EXPO 2017」は、行政、民間等70社以上が出展する、自転車を利活用したまちづくりをコンセプトとした展示会。自転車業界は健康的な環境未来都市の創造において重要なポジションを占めるであろうと、今までにないまちづくりの視点で企画された。自転車を取り巻く多様な業種が参加することによってその進むべき方向性を大胆に提示・提案する。

優秀賞 (部門賞) 8 部門が決定

第3回 JACE イベントアワード

一般社団法人日本イベント産業振興協会(成田純治会長)は、「第3回 JACE イベントアワード」優秀賞(部門賞)を発表した。

総応募数は106作品。優秀賞(部門賞)には次の8イベントが選ばれた。

- ・技術を楽しむ賞:「Galaxy Studio」
- ・防災は継続賞:「3.11 WALK」
- ・グッドオペレーション賞:「渋谷カウントダウン “YOU MAKE SHIBUYA” COUNTDOWN 2016-2017」
- ・頑張れ!!フィッシュガール賞:「女子高生によるマグロ解体ショー『フィッシュガール』」
- ・Beyond Sports 賞:「第一回超人スポーツゲームズ」
- ・イベントが行動を変える賞:「TOHYO CYPHER」
- ・地域の熱気賞:「2016 佐賀熱気球世界選手権 / 2016 熱気球ホンダグランプリ 最終戦」
- ・街を咲かせる賞:「日本橋 桜フェスティバル」

上記作品のなかから、全国約2300名のイベント業務管理士が、ホームページ上で投票を行い「イベントプロフェッショナル賞」を選出、表彰式で「経済産業大臣賞(日本イベント大賞)」とともに発表される。

表彰式は、6月12日目黒雅叙園で実施。各賞の受賞者には賞金のほか、日本で唯一のLEGO®認定プロビルダー三井淳平氏制作のオリジナルトロフィーが贈られる。



大賞トロフィーは誰の手に?
(写真は前回トロフィー。毎回デザインを変えている)

○技術を楽しむ賞:「Galaxy Studio」
【受賞者】サムスン電子ジャパン



○防災は継続賞:「3.11 WALK」
【受賞者】3.11 WALK 実行委員会



○グッドオペレーション賞:「渋谷カウントダウン “YOU MAKE SHIBUYA” COUNTDOWN 2016-2017」
【受賞者】渋谷カウントダウン実行委員会(渋谷区、渋谷区商店会連合会、渋谷駅前エリアマネジメント協議会)



○頑張れ!!フィッシュガール賞:「女子高生によるマグロ解体ショー『フィッシュガール』」
【受賞者】愛媛県立宇和島水産高校水産食品科 全国各地の百貨店等



○Beyond Sports 賞:「第一回超人スポーツゲームズ」
【受賞者】超人スポーツ協会



○イベントが行動を変える賞:「TOHYO CYPHER」
【受賞者】東京都選挙管理委員会



○地域の熱気賞:「2016 佐賀熱気球世界選手権 / 2016 熱気球ホンダグランプリ 最終戦」
【受賞者】2016佐賀熱気球世界選手権組織委員会・佐賀市、一般財団法人日本航空協会、日本気球連盟、佐賀県、佐賀市、佐賀バルーンフェスタ組織委員会 ほか



○街を咲かせる賞:「日本橋 桜フェスティバル」
【受賞者】日本橋 桜フェスティバル実行委員会



5月22日から予約受付開始

みなとみらいコンベンション施設 (仮称)

国内最大級の複合 MICE 施設、パシフィコ横浜(正式名称:株式会社横浜国際平和会議場、所在地:横浜市西区、代表取締役社長:鈴木隆)は、2017年5月22日から、「みなとみらいコンベンション施設(仮称)」(以下、「新施設」)の予約受付を開始した。

新施設は、パシフィコ横浜展示ホールに隣接して整備されるもので、2020年春に国内最大規模の多目的ホールと全42室の大中小会議室の

開業を予定。規模・用途に応じて最大8分割可能な多目的ホールは、大型企業コンベンションの開催に最適なスペースで、記念式典やインセンティブトラベル(報奨・研修旅行)、見本市・展示会、新商品発表会、大型パーティーなどに利用できる。

また、施設の拡張により、既存施設と併せて3,000名規模の大型国際会議・学会を2件同時並行で開催することができる。



みなとみらいコンベンション施設(仮称)(右)とパシフィコ横浜の既存施設(左)

マストドンブリーフィングも開催

Interop Tokyo 2017

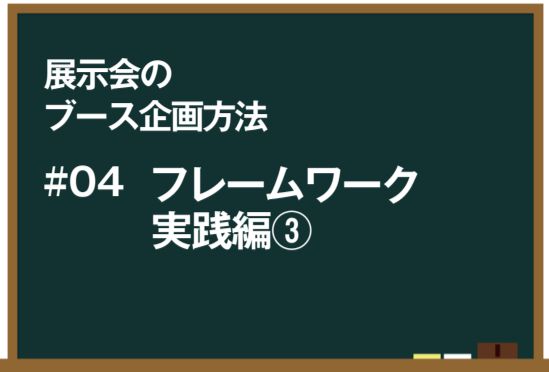
インターネット、クラウド、データセンター、仮想化、セキュリティ、ワイヤレスなどのテーマで、IT 導入決裁者が集うイベント「Interop Tokyo 2017」が6月7日から9日までの3日間、幕張メッセで開催される。今回は特別企画にマストドンブリーフィングもあり、7日には「マストドンを作った理由」として作り手であるオイゲン・ロッコ氏が、マストドンの開発意図や技術、ユーザーの現状とこれからの語る(Skypeによる遠隔出演)。

また、同時開催の「デジタルサイネージ ジャパン 2017」では、街中のメディアとしてさまざまな役割を果たすデジ

タルサイネージの最新技術と活用法を展示。「Connected Media Tokyo 2017」ではマルチスクリーン、クラウド、ビッグデータ、広告・マーケティングなどデジタルメディアを活用した最新技術が集まる。位置情報を発信する機器や技術の向上を体感できる「ロケーション ビジネス ジャパン 2017」、アプリビジネスとテクノロジーの最新動向を発見する「APPS JAPAN (アプリジャパン) 2017」とトレンドを一気見することができる。



IT関連の間で注目を集めるマストドンの特別企画も



Powered by 1ROLL

展示会のブース企画のフレームワークも第3回を迎えました。今回は工業製品を対象にしてみました。工業製品は製品・ソリューションの種類が多いため、この回だけで十把一絡げに説明しきめることは難しいですが、ぜひ自社製品・技術・ソリューションに当てはめるとどうなるか?という視点でご覧頂ければと思います。

工業製品のケース

まず、簡単にこのワークシートの振り返りをしてきましょう。「要素」はその商品全体を構成する部品、パーツ、素材、世界観など。「機能」は性能、効力、ベネフィットなど。「属性」はターゲット、商品名や商品コピー、想定ユーザー、製品が属する商品や業界ジャンルなどでしたね。

今回のケースは展示商品が「4WS台車」です。4WS台車をまず要素・機能・属性別に分類して書き出していくと、図1のようになりました。「要素」には、この台車が有する「回転半径が極小である」といった情報が記載されています。「機能」には、鉄工所が開発しているが故のコストメリットや、4WS台車を使用することで、工場の作業スペースをより小さく使用することができるといったメリットを抽出。補足解説を致しますと、2DS台車が曲がって走

行しようとする場合、直角に対して楕円を描いて走行するのに対し、4WSは直角に曲がるができます。これによって、作業スペースをより確保することができるワケです。「属性」情報は数を出すことができませんでしたが、このワークに取り組んだ担当者の方が、ワーク中に「パッ」と頭に浮かんだ製品のキャッチコピー「四角くついでいきます」を書き込みました。このコピーは工場内の効率的なスペース管理に悩んでいる企業担当者にとっては、ハッとさせる力があるかも知れません。こうして抽出、分類した情報から、最も際立たせる情報として、ここでは「回転半径が極小」、「作業スペースをより広く確保できる」という二つを選びました。

際立たせる情報が決まれば、次に取り組むのは、どのようにして際立たせるかというメソッド選びです。今回のワークではこの製品の導入を検討する企業担当者が、男性が多く、ミニカーなどに熱中した世代と仮定して、こうした担当者が思わずブースでワクワクするような仕掛けを与えたいと、比較・実証メソッドに加えて、置換メソッドを採用しました。具体的には、この企業が3DSプリンターを活

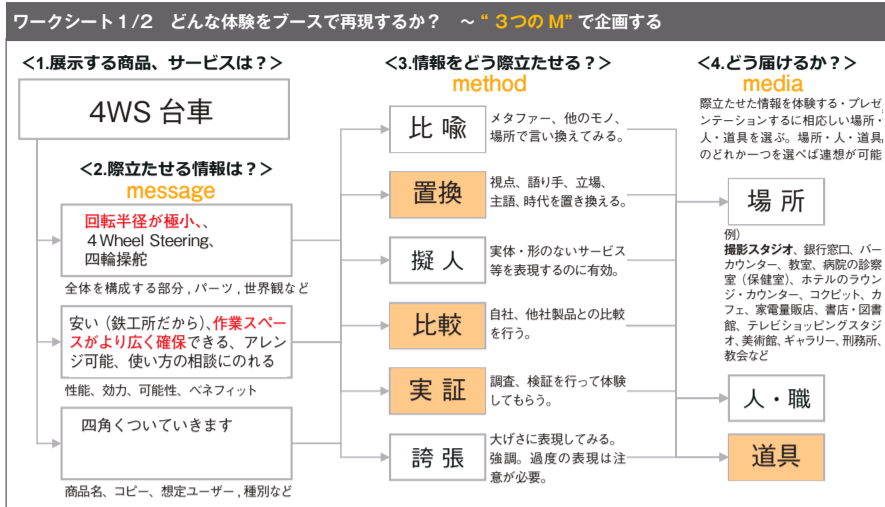
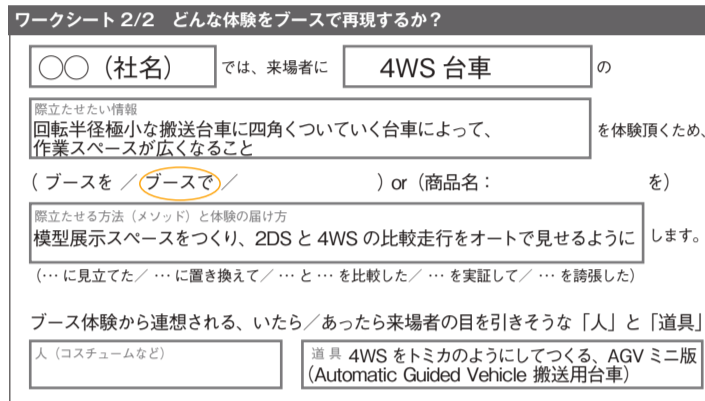


図1 フレームワーク実践編③: 4WS 台車



用しているという自社リソースを活用して、4WS台車と2DS台車のミニチュアをつくり、その走行性を箱庭のような工場セットを用意して、比較してみるとというブース内の体験を企画されました。これは、仮ターゲットがミニカーなどが好きだったのではないかと?という大胆な仮説から考えていたアイデアだったのですが、トミカやラジコンなどに熱中した世代にとっては胸が熱くなるような体験を提供できるのではないのでしょうか。ここで補足したいのは、このターゲットを仮設定したことで、台車のミニチュアをつくるというアイデアが生まれているので、「属性」情報にはターゲットを書き込んでおく方が良いですね。ターゲットは一種類である必要はなく、複数設定しても構

いません。そのターゲットの書き方も、年齢、性別に止まらず、仕事上課題としているであろう事柄も書いていくと、さらにブース企画のアイデアが湧いてきます。

さて、このブース企画。少し先ですが、2017年7月27日(木)に、株式会社宣伝会議で展示会出展に関する基礎知識や獲得した名刺への営業方法などを学べる一日集中講座「展示会出展実践講座」として開催されます。ご興味があればぜひお越しください! <https://www.sendenkaigi.com/class/detail/exhibition.php>

前田考歩
株式会社フレイ・スリー
プロジェクトエディター
プロジェクトマネージャー

国際会議の波及効果 5905億円 観光庁が初の調査

観光庁は4月26日、平成27年に日本で開催された国際会議の経済波及効果の算出結果を発表した。2847件を対象にした同調査によると、国際会議開催による経済波及効果は直接効果約2655億円、間接効果が約3250億円で合わせて約5905億円。また雇用創出効果は約5万4000人、税収効果は約455億円と算出された。

イベンター・マーケター向け 6月のセミナー・イベント

- 3・4日 Red Bull Air Race Chiba 2017 @千葉県立幕張海浜公園
- 6・7日 宣伝会議インターネット・マーケティングフォーラム2017 @ANA インターコンチネンタルホテル 東京
- 7~9日 INTEROP TOKYO / Connected Media Tokyo 2017 @幕張メッセ
- 8・9日 WIT (Web in Travel) in Japan & North Asia 2017 @マイナビ 竹橋オフィス/ウェスティンホテル東京
- 9日 第1回 HOT SCAPE Biz セミナー @日比谷コンベンションホール
- 13~15日 Salesforce connections 2017 @米国・シカゴ
- 13・14日札幌 / 20・21日 福岡 Cloud Days 2017
- 14・15日 CMO Japan summit 2017 @ホテル椿山荘東京
- 16・17日 イベントランド北海道 @アクセスサッポロ
- 17日 マイナビベンチャー Park Supported by Spacemarket @ベルサール渋谷ファースト
- 26日 ベニユ研フォーラム#03 @フクラシア八重洲

次号予告 24号は6月30日発行 <特集> イベントの食(仮)ほか

ビッグサイト五輪期間中の利用制限 一部改善も業界の不満解消せず

東京ビッグサイトは4月26日、「2020年オリンピック開催に伴う利用制約についての説明会」を実施。展示会主催者や関連企業などに対して、2019~20年の展示会場の利用制約・利用調整、青海展示棟(2万3200㎡)・南展示棟(2万㎡)の概要について説明を行った。

これまでに東京ビッグサイトと東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(以下大会組織委員会)は準備期間と撤去期間を含めた大会期間の施設利用について協議調整を行い、過去2回説明会を実施して途中経過を説明してきた。今回展示会主催者からの要望を受け、青海展示場の利用期間が5か月延長されたこと、西展示場と南展示場の利用制限が2か月短縮されることが発表された。



説明会の質疑応答は予定時刻を過ぎても続いた

い。東京ビッグサイト代表取締役社長の竹花豊氏は、「これからも努力は続けるが大幅な改善は難しい」という見解を示している。一方、日本展示会協会は、展示会関連企業の1,300億円の損失と展示会での商談機会損失により1兆円を超える経済への影響を訴え、行政・メディアへの働きかけや署名活動を行うなど状況改善に向けて動いている。

課題解決へグループワーク

会議室.comを運営するアスノシステム、インターネット展示会のメディア、月刊イベントマーケティングを発行するMICE研究所の3社は6月26日、「ベニユ研フォーラム#03」を開催する。会場となるフクラシア八重洲(東京)は、「Priority Meeting」をコンセプトに今年6月にオープンする貸会議室・レンタルスペース。フォーラム開始前には内覧会も実施される。

第3回目となる今回は、イベントホール運営者や利用者の課題解決に向けて具体的に活動するため、課題ごとに少人数のグループワークを実施。前回の参加者から寄

ベニユ研フォーラム#03

せられたベニユ研に期待することの中から、次の5つのポイントに絞りのように進めていくべきか議論する。

- 1. 会場名称の定義
 - 2. 調査・データ化
 - 3. 技術研究・実験室
 - 4. コンテンツ研究
 - 5. 会場間の情報共有化・連携
- 参加費は懇親会込みで3000円となっている。



前回のベニユ研フォーラム

副編タナカリポート



梅田のど真ん中にテントを張る理由

ゴールデンウィーク期間中、大阪梅田の中心地グランフロント前の敷地で、スポーツと遊びを体感する「うめきた発見伝」が開催された。パラスポーツ体験などのイベントのようすと、うめきたヤード跡地に間口30mの巨大テントを設置してイベントを主催した西尾レントオールの想いを取材した。

パラスポーツの企業対抗運動会

会場では、アイマスクをつけて転がるボールに飛びつく人とハリセンを叩いて応援する大人たちがいた。5月3日に開催された「あすチャレ!運動会」に参加した、日本生命保険、アシックス、ヒト・コミュニケーションズ、西尾レントオールの4社が第一種目のゴールボールに挑戦しているところだった。この日はパラリンピックの正式競技や、未経験者用にアレンジされた競技5種目を4チームの総当りで戦い点数を競う会社対抗の運動会だ。参加者のほとんどが車いすが初めてとか、競技を見たことはあってもプレイするのは初めてという人ばかり。各競技が始まる前に、「あすチャレ!運動会」の運営など、パラスポーツの普及・啓発のためのプログラム開発やイベントの開催を行う日本財団パラリンピックサポートセンターのスタッフがルールや基礎技術、作戦をレク

チャーした。各チームがその場で作戦を練って試合に臨む、いわばチームビルディングの種目となっていた。優勝したアシックスのメンバーは「スポーツブランドとして、パラスポーツの機会を広げていきたい」と語った。運動会終了後は一般開放し、パラスポーツ体験会が行われ、多くの家族連れが参加した。障がい者と健常者が一緒になり、車椅子バスケット

ボール元日本代表キャプテン根木慎志さんと車椅子バスケットボールを楽しんだ。参加した児童の父親は「一緒に遊び、障がいのある子と仲良く接するようになってほしい」と語った。そのほか、壁有り5人制室内サッカー「ハーレフースパル」の大会KERAMIK-CUP JAPANの関西予選、移動式キッズスポーツパークを実施し、多くの来場者を集めた。



写真上:西尾レントオール芝本和宜さんと車椅子バスケットボール元日本代表元キャプテンの根木慎志さんがタッグを組んだ。
写真左:ほとんどの参加者がパラスポーツは初めての経験だったが、すぐに慣れて技とチームワークを競いあった。

消したことでノウハウが蓄積され、他の事例への展開がスムーズになりそうだ。最大40m間口までラインナップしており、さらに大規模の会場も仮設でつくれる。会場の床は同社が「スポーツコート」のブランドで展開する仮設床材を使用。車いすによる傷やタイヤ痕が会場を借りる際のネックになっていたがクリア。この2アイテムにより、どんな場所でも競技場・展示場に変えられそうだ。

西尾レントオールのイベント事業担当の芝本和宜常務取締役は「民間企業として、東京五輪パラリンピックに向けてスポーツ関連のイベントに自社製品の優位性をアピールしたい、主催の実務を行うことで自社にノウハウの蓄積をしたいという狙いはもちろんある。しかしそれだけではなく、パラスポーツの浸透・発展に寄与して、障がい者と健常者の距離が縮まること、誰もがスポーツをプレイしたり、イベントに参加できる社会づくりに貢献したい」。また「大阪本社の企業として、他のどこでもやったことないことを大阪で行って、地元を盛り上げたい」とその想いを語った。

イベントによる地域活性化、パラスポーツによる多様性社会の実現、空き地を会場に変える機材と施工、今後の西尾レントオールの展開から目が離せない。

屋外イベント計画中の皆さまへ!

この仮設テント使える!
リアルな大きさを体感頂きたいテントです。



TENSION FABRIC STRUCTURE

多目的
大型テントは
「TFSテント」
で決まり!

用途事例

- ・コンサート会場
- ・イベント会場
- ・スポーツ会場
- ・展示会会場
- ・各種式典会場
- ・仮設倉庫として

仕様

間	8m~40mまで	奥行	5m単位で
口	各サイズ	行き	延長可能

レントオールグループのビジョン

1

2

3

4

5

企業力の
スパイラル的な
向上

1 新しい分野に挑戦するエネルギー

2 人材の育成

3 ソフトの開発
ITを取り入れた新しい市場開発

4 データ化、システム化による情報の共有化・見える化の推進

5 イベント業界を牽引する
トップランナーとして役割を担う

私たちレントオールは、グループの強みである総合力と人材力そして挑戦する企業文化をもって、お客様のパートナー企業として最善の成果をお届け致します。

今後も時代の変化をすばやくキャッチし、新しいレンタル商材の開発を進めながら、ハード面とソフト面のノウハウを高め、両輪で提案できるイベントレンタル部門を目指してまいります。

レントオールグループは、業界のリーディングカンパニーとして常に前進し、道を切り拓きます。

TOTAL POWER by NISHIO

総合レンタル業のバイオニア
西尾レントオール株式会社 レントオール事業部

TEL : 03-6809-5548 FAX : 03-6809-6595
HP : <http://event.nishio-rent.co.jp/>

face to face を科学するイベントメディア

オンラインも 強い EVENT MARKETING

**最新ニュースやアーカイブ、
バックナンバーも読めるウェブサイト**





**特集記事の裏話や
イベマケ編集部の
日常がわかるメルマガ**

<http://www.event-marketing.co.jp>
Facebook と Twitter もやっています

【不定期対談】

イベントの本音トーク

第①回

テーマ

〈はじめの一步〉

日比谷 尚武 / 一般社団法人 at will work 理事。(写真左)

「働き方を考えるカンファレンス 2017」広報担当。ロック DJ でもある。

前野 伸幸 / 株式会社ホットスケープ代表取締役。(写真右)

「働き方を考えるカンファレンス 2017」制作・運営責任者、同社でカンファレンス・出展ブースの事務局を行う。国内屈指のカジノプレイヤーでもある。

【告知】

6月9日(金)に、第1回 HOT SCAPE Biz セミナー「失敗しないイベント・セミナー会場選びのポイント」を開催。



「働き方を考えるカンファレンス 2017」：企業・個人の「働き方の選択」を共有したイベント

前野 今年2月に開催された「働き方を考えるカンファレンス 2017」は、イベントの企画・運営を25年以上やってきたなかでも、特殊なイベントでした。ジャンルが業界や職種での区切りなわけではないし、主催組織も一社単独でも共催というわけでもなく、個人や企業が集まった一般社団法人。事前の打合せはweb会議で進め、メンバー全員が顔を合わせたのはイベント当日だったなんてことも初めての経験でした。

日比谷 働き方について新しい考え方を広げるという目的のために昨年5月に立ち上がった一般社団法人 at will work という組織が、その目的である「働き方を選択できる社会づくり」を広げるために実施した初めてのカンファレンスだったので、わたしもこういうジャンルってなんていうのか聞いたことないです。

前野 ここまで参加者とコンテンツの多様性があるものはまだ少ないですが、社会的課題をインタラクティブに解決するカンファレンス形式のイベントが最近ふえてはきています。面白いのは、新しい人たちによる新しいイベントの誕生の予感があることですね。

これまで初開催時に課題になる“集客”も、SNSなどのコミュニティ経

由で興味関心の高い層に届く時代になって、イベントが開催しやすい環境になったことも背景にあると思います。それにともなって、イベントの企画・運営側への相談内容も変わってきたなと感じています。そんな間合せもふえてきたので、イベント担当に初めてなる方のための自社セミナーをはじめのきっかけにもなりました。

日比谷 今回なんかだと、イベント運営の経験者がいなかったの、「なにかから始めればいいのか」という状態のスタートだったと代表理事の藤本から聞きました。

前野 そうそう、私が藤本さん(一般社団法人 at will works 代表理事)にはじめてお会いしたのが昨年6

月で、会場・日程・規模は決まっていたので、まずはイベント当日までに何をしなければいけないのか、タイムスケジュールと、会場構成のイメージ参考になるレイアウトの2つをお渡ししました。

日比谷 僕が昨年12月に理事として正式にジョインしたのですが、11月の時点でカンファレンスの準備について話を聞いたり、情報交換をしていました。そのとき実質3ヶ月

前にもかかわらずスケジュール通りいってなくて(笑)。協賛関係もほぼこれからというハラハラドキドキな感じでした。

前野 当初、私はイベント制作・運営の責任者でしたが、最終的には収支のバランスシートをみながら、スケジュール管理をするプロジェクトマネジメント的な役割も同時並行していきました。54名登壇したカンファレンスのスピーカー事務局とブースゾーンの出展事務局も弊社が兼ねていたので、リアルタイムで進行具合を把握することができたのは、安心ではありました。

日比谷 主催者としては、新しい考え方を“伝える”ためにスピーカーとプログラムにぎりぎりまでこだわり、そして“広げる”ために広報に力を注いでいて、理事5人+1人では手一杯だった、イベントの場でそのメッセージをどう描くかにも手が回っていなかったんです。前野さんと一緒につくることで、制作で時間的に厳しくなってしまう前にアラートを出してくれる存在がいることや、制作にかけるべきコストや逆にコストの削りどころをみつけて代

替アイデアを提案いただけたことで、クオリティを担保することができました。

前野 モノやサービスを伝えるためのイベントであれば、機能・性能の比較で購入に導くことができて、考え方を伝える、さらにはできたばかりの組織として大勢に第一声を届けるような大切なイベントの場合には、リアルな場でブランド価値を上げ、メッセージを体感してもらえなければムーブメントとして波及していきません。イベントの品質、ブランディング面で僕らができることを突き詰めていきました。

日比谷 コンセプトを骨太にして強くしていくことが主催者の用意すべきことで、どうアウトプットするかはプロがいる。考え方を伝える思い系のイベントでは集まってよかったで終わりがちですが、伝えて、広げてなんぼです。イベント品質や、ブランディングづくりは絵としてソーシャルや動画の展開を意識するうえでも重要だと感じました。次回へ向け継続性という課題もでてきますが、1回開催して土台ができたことは大きい。イベントは手法としては古典的ですが、ネット情報でのインプットとは違う、生のエネルギーなどの伝達力があります。大事にしていきたいですね。



日比谷 尚武 / 一般社団法人 at will work 理事。(写真左)



前野 伸幸 / 株式会社ホットスケープ代表取締役。(写真右)

TOPICS

トッピング体験で世界観味わう

コールド・ストーン・クリーマリー・ジャパン株式会社



「Cold Stone POP UP SHOP」マスコミ・ブロガー向けにも体験提供を実施した

上陸以来10年以上が経ち、現在はアイス以外にも様々な商品を展開中のコールドストーン。「Cold Stone POP UP SHOP」では、「既存店で販売していない商品もふくめ一堂に会することで、コールドストーンの世界観を味わってほしい」と企画された。「MY デコソフト」体験の企画は、コールドストーンの「好きなアイスとトッピングでオリジナルアイスを作る」という特性を生かしたもの。



「Cold Stone POP UP SHOP」
実施場所：東急プラザ表参道原宿
実施期間：5/9-6/30
ターゲット：原宿でショッピングなどをする10代から20代前半の女性
制作会社：ニューアド



HOT SCAPE Biz Seminar

HOT SCAPE Biz セミナー シリーズ開催決定!

第1回 HOT SCAPE Biz セミナー
2017年6月9日(金)
「失敗しないイベント・セミナー会場選びのポイント」
会場：日比谷図書文化会館 日比谷コンベンションホール

お申込み <http://eventregist.com/e/hotscape>
お問い合わせ event@hotscape.co.jp
Facebook ページ <https://www.facebook.com/HotscapeBizSeminar/>

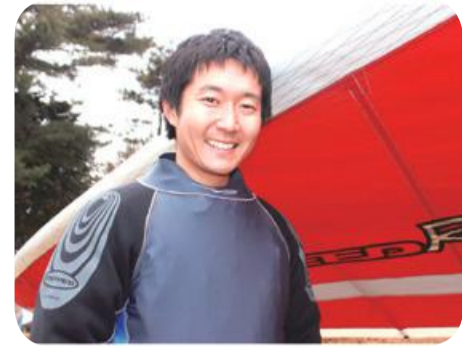
stand up A guys

イベント成功の方程式 知っています。

おや? お困りですか?
イベント担当に任命されたあなた。これはチャンスです。あなたの会社のこと、根掘り葉掘りお聞かせください。

TEL:03-5809-2709 www.event-suguy.com/
株式会社 stand up A guys 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 2-4-6 竹節ビル 2F

【表紙のひと】



ハンググライダー
日本代表選手

鈴木 由路さん

VR シミュレーター開発し 体験提供しファン増やす

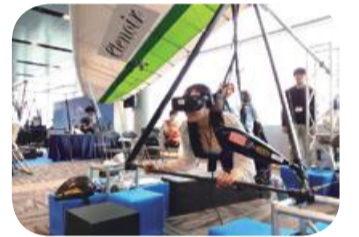
ハンググライダー日本代表選手の鈴木由路さんは、現在国内ランキング2位、日本人過去最高位となる世界ランキング30位と活躍している空の現役アスリート。さらなる上位をねらいトレーニングをするかたわら、ハンググライダーの振興にも熱心だ。

「ハンググライダーは競技人口も1,000人ほどで、まだまだマイナーなスポーツです。ですが、この素晴らしさをできるだけ多くの方に知ってもらいたい」と、VRを活用したハンググライダー体験シミュレーターを東京工業大学霞田研究室と共同で開発した。鈴木選手は、これまでも山梨県内などでハンググライダーの体験ツアーなどを企画してきたが「都内でもっと気軽に体験してもらいたい」という思いもあった。

ハンググライダー VR体験シミュレーターは、羽田空港で行われたイベント「HANEDA KIDS WEEK 2017」(5/3～5)で初披露され、3日間で延べ1,200人が体験。参加者

のほとんどがハンググライダー未経験だったが、「本当に空を飛んでいるように感じて楽しかった」「雲をこんなに近くで見れるなんて驚きだ」など、好評を博したという。

「今後は、さまざまなイベントで体験者をふやしていきたい」と、「ハンググライダー体験シミュレーター」のパッケージプランも企画している。



羽田空港で行われたイベント「HANEDA KIDS WEEK 2017」

【応援宣言】月刊イベントマーケティングでは、イベントや体験提供を通して、スポーツの可能性を広げる鈴木由路さんの活動に賛同し、「VRを活用したハンググライダー体験シミュレーター」を「第4回イベント総合EXPO」の自社ブースで展示します。これを機にマイナースポーツの振興と企業スポンサーの研究をここに誓います！



**2017 .8.30
TORANOMON HILLS
FORUM**

<http://backstage.tours>

超お得な
SUPER EARLY BIRD チケット
お申し込みはこちら



マイナビ GirlsAward 2017 SPRING/SUMMER ファッションショーの裏方で行われた SNS 施策



Powered by
#SnSnap

日本最大級のファッション&音楽イベント「マイナビ GirlsAward 2017 SPRING/SUMMER」で行われた SNS 施策のポイントは裏方での実施。ショーの裏方はメイクや衣装替えの現場だが、出演モデルの隙間時間を活用した。動画の撮れる「#SwingSnap」の体験は SNS 映えすると好評でモデルの SNS 投稿を促進、運営側の SNS アカウントにもリアルタイムにアップされ、イベント来場者以外とのコミュニケーションも活発になった。



「#SwingSnap (スウィングスナップ)」

2017年の2月にSnSnap社よりリリースされたマルチカメラサービス。8台のカメラで同時撮影し、撮影した画像を合成し動画化。スマートフォンでは撮影できないような3D動画が撮影でき、すぐにメールでもらえることが特徴。

イベント告知

BACKSTAGE is Back !

超早割チケット販売開始



昨年夏に初開催した「BACKSTAGE」が、今年も8月30日に虎ノ門ヒルズフォーラムで実施される。

前回は、イベントの夏フェスとしてAR、テクノロジー、コミュニティ、海外トレンドなどがテーマとなり9つのセッションを展開。展示会場では出展者とともにイベント関連サービスを提案したが、今回は体験型マーケティングのカンファレンスとして、進化するデータ活用の最新事例やエンターテインメント・ライブ市場などの実践者から深く、広く学ぶことのできるセッ

ションやサービスを揃える。

アドバイザーボードには、初音ミクの開発者としても知られる伊藤博之氏、コミュニティマーケティングを考えるCMC_meetup 発起人小島英輝氏、Color Me Rad JAPAN レースディレクター佐竹美帆氏、電通中嶋文彦氏、日テレ SENSORS.jp 編集長の西村真理子氏、TAMARIBA 代表取締役の牧野見典氏など、体験価値マーケティングの実践者が集まる。

5月29日からチケット販売を開始しており、6月30日までの期間中は SUPER EARLY BIRD6000 円 の

チケットを販売。STANDARD 料金(1万円)から4000円割引となる。また、前回参加した企業のマーケティング担当者やイベント運営担当者などから「チーム単位で来場して共有したかった」との声を受け、団体チケット(3名以上)を用意。SUPER EARLY 期間中は、5000円で販売する。

チケット申込みは、下記 URL、または QR コードから。

<http://eventregist.com/e/BACKSTAGE2017>



**2017 .8.30
TORANOMON HILLS
FORUM**

<http://backstage.tours>

超お得な
SUPER EARLY BIRD チケット
お申し込みはこちら

